

オリент美術館活用事例集

はじめに

オリент美術館は、子ども達をはじめ多くの方々に学びの場を広げる一助になればとの観点から、このたび本事例集を作成しました。

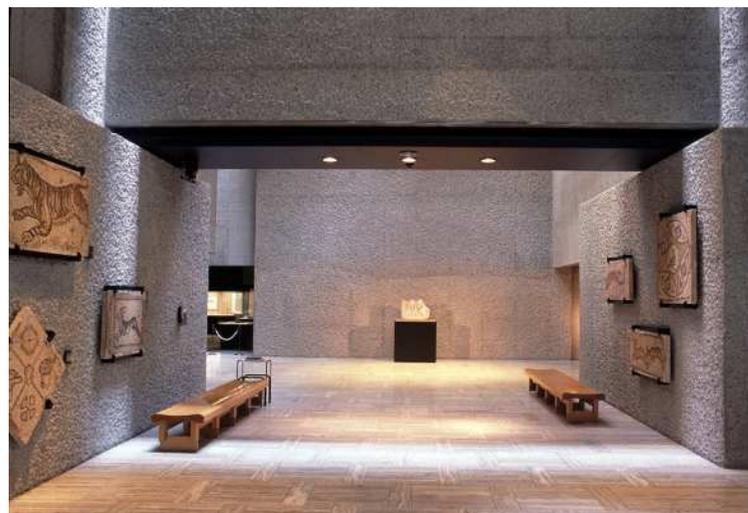
挙げている事例については、実際に行った事例をそのまま掲載するのではなく、複数の事例をまとめ、美術館が行うことができる活動の基本形として作成しています。

また、新たな活用についてご提案いただくことにより、より良い活用について一緒に考えていきたいと思っております。

ぜひご一読いただき、様々な活動の中でオリент美術館をお役立てください。

目次

- 1 円筒印章をつくろう（図画工作/美術）
- 2 破片から想像しよう（美術）
- 3 オリент美術館に行ってみよう（校外学習）
- 4 オリент美術館について（公民館）
- 5 オリент美術館の作品を鑑賞しよう（図画工作/美術）
- 6 オリент美術館の作品からキャラクターを考えよう
（図画工作/美術）
- 7 土ぐうのふくをかんがえよう（図画工作）
- 8 美術品の修復について考えよう（美術、校外学習）
- 9 魔法のエンブレム（図画工作）
- 10 仮想展示室をつくろう（図画工作/美術）



オリエント美術館活用事例 1 【出前授業】

教科・分野 図画工作/美術 表現	円筒印章をつくろう (円筒印章をつくろう)	実施学年(年代) 小学校 第4～6学年 中学校 第1～3学年
活動の概要 楔形文字の自分の名前の円筒印章をつくる。		
主に使用した教材等 円筒印章キット(美術館作成 ワークシート含む) 楔形文字50音表、円筒印章レプリカ ※円筒印章は円筒形の発泡ストックを使用。	美術館の資料 円筒印章 (メソポタミアで発明された古代の転がすハンコ。粘土に押印する。)	
他 ・一人一台端末を使用 ・次時以降に校外学習の活動あり		
本時の展開		
	主な学習活動	
前時	・「オリエンかる太」を行うことで、オリエント美術館に親しみを持つ。	
導入	・オリエント美術館について知る。 ・円筒印章について理解し、楔形文字やつながるデザインに関心を持つ。 ・本時の活動について知る。	
展開	・自分の名前の楔形文字をもとにした円筒印章のデザインを考える。 ・考えたデザインを円筒印章(発泡ストック)に転写する。 ・円筒印章を彫る。(つまようじ等を使用) ・制作した円筒印章を粘土に押し、記録用の写真を撮影する。 ・写真の提出、片付け。	<div data-bbox="1335 839 1473 871" data-label="Section-Header"> <h3>活動の様子</h3> </div> <div data-bbox="1335 888 1594 1083" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="1335 1091 1594 1265" data-label="Text"> <p>楔形文字50音表は、紙での配布と端末での配布を同時に行った。生徒は、端末を使って文字を拡大して見ることもできる。</p> </div> <div data-bbox="1648 888 1995 1110" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="1648 1118 1995 1233" data-label="Text"> <p>粘土は油粘土を使用、提出は写真を提出した。そのため、彫り直し、押し直し、撮影のし直しをすることができる。</p> </div>
終末	・本時を振り返り、異文化への親しみを維持する。	
次時以降	美術館に来館し、学びを深める。(校外学習)	

本事例について

本事例では「楔形文字の自分の名前の円筒印章をつくる」ことに注力した。同じ円筒印章を題材として、「オリエント美術館所蔵品の文様を取り入れたデザインを考える」「つながるデザインを考える」といった活動を行うことも可能である。

オリент美術館活用事例 2 【出前授業】

教科・分野	破片から想像しよう	実施学年(年代)
美術鑑賞		中学校 第2学年
<p>活動の概要</p> <p>やきものの破片を実際に触り、もとの造形について想像する。</p>		
<p>主に使用した教材等</p> <p>やきものの破片、破片の写真、鉛筆</p>	<p>美術館の資料</p> <p>やきものの破片 (土器、陶器の破片。元の形は不明)</p>	
<p>他</p> <p>・一人一台端末を使用 (館ホームページ検索のほか、破片の記録写真も撮影可とした。)</p>	<p>美術館ホームページ内「収蔵品検索」</p>	
<p>本時の展開</p>		
<p>導入</p>	<p>主な学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリент美術館について知る。 ・美術品等を扱う時の注意事項について知る。 ・本時の活動について知る。 	
<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班で一つやきものの破片を選択する。 ・実際に破片に触れ、形、大きさ、厚み、手触り、土の粗さや色みなどから元の造形を想像する。 ・想像した元の造形をワークシートに描く。また、どうしてそう考えたのか根拠も書き込む。 ※館HPにある他のやきものの造形を参考にすることができる。 	
<p>終末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、当時の文化・社会について考える。 	
<p>次時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に考えた元の造形について話し合う。 ・友達の考えを参考にしながら、元の造形の想像図を完成させる。 	

活動の様子



本事例では、班ごとにやきものの破片を配付した。お互いに気が付いたことを共有することで、考えが深まる姿があった。

考えた元の造形を描く際には、破片の写真を使用して描いてもすべて自分で描いてもどちらでも選択できるようにした。

本事例について

生徒が元の造形について様々に想像することができるように、特に形に特徴のあるやきものの破片を取り出して教材とした。美術館の学芸員が携わった修復例について紹介し、美術品の修復や継承について考える題材とあわせることもできる。

オリент美術館活用事例 3 【校外学習】

教科・分野	オリент美術館に行ってみよう (岡山カルチャーゾーンの施設について調べよう)	実施学年(年代)
特別活動 総合的な学習の時間		小学校、中学校

活動の概要 校外学習で来館するオリент美術館について調べることで、充実した校外学習につなげる。実際にオリент美術館を訪れる体験を通して、異なる文化を体感的に学ぶ。

使用できる資料

オリент美術館ホームページ



オリент美術館「あいうえお」
(来館のための手引き)



PDF版



漫画編

ミュージアム鑑賞ノート

カルチャーゾーン7施設について取り上げている書き込み式のノートです。



その他

- 【オリент美術館】
- ・年間リーフレット
- ・オリент美術館パンフレット

- 【カルチャーゾーン】
- ・岡山カルチャーゾーンリーフレット
- ・岡山カルチャーゾーン周遊マップ

本時の展開

	主な学習活動
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリエンかる太」を使用し、オリент美術館に興味を持つ。 ・オリент美術館について、館ホームページ等を利用して調べ、来館の際の活動について考える。
校外学習 (オリент美術館)	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館職員から美術館の概要について聞き、美術館の特徴や展示の工夫について知る。 ・学芸員から職業についての話を聞き、自分の充実した生き方について考える。 ・民族衣装の試着体験や美術品の鑑賞などを通して、多様な芸術や文化に関心をもつ。
校外学習 (カルチャーゾーン)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にカルチャーゾーンを歩き、「ミュージアム鑑賞ノート」に記入する。 ・互いに協力して活動を進める。
事後	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、自己の学びについてまとめる。



美術館の収蔵品についての学習資料

「オリエンかる太」



オリент美術館の名品50点を、読み札で紹介するカルタです。



「収蔵品情報可視化ツール」



オリент美術館の考古美術品50点を3次元空間に配置しています。直観的に作品を選び、閲覧することができます。



本事例について

事前の活動として出前授業を行うこともできる。また、館内の活動としてワークシートを使った自由見学や、ワークショップでものづくり体験をすることもできる。

オリент美術館活用事例 4 【出前講座】

教科・分野	オリент美術館について	実施学年(年代)
公民館講座		指定なし
活動の概要	講義と来館を通して、オリент美術館やその所蔵品について知る。	
主に使用した教材等 プロジェクター等	美術館の資料 映像資料等	
他 内容は公民館からのニーズによって変更		
展開		
	主な活動	
1回目	<p>「あってよかった！オリент美術館(なぜ岡山に?)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア唯一の公立オリент専門館 ・美術館設立までの経緯 ・岡山にオリент美術館がある意義 	<p>工夫・留意点</p> <p>参加者の年代やニーズに合わせて講義の内容は変更する。 写真はパネル展示で美術館の紹介を行った時の様子。</p> 
2回目～	<p>「オリент美術館の収蔵品について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に数例！貴重な品々 (代表作品「有翼鷲頭精霊像浮彫」、三連瓶) ・他収蔵品から分かる当時の人々のありよう <p>「学芸員の研究報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外調査、化学分析で得た知見 	<p>後日の来館がない場合は、美術館から体験可能なものを持参することもできる。</p>  <p>民族衣装試着体験</p>  <p>学芸員が現地で購入した香りをかぐ</p>   <p>美術品ややきものの破片にふれる</p>
来館	後日来館し、美術館の建築や収蔵品を実際にみることで学びを深める	
子ども向けワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・オリент美術館についての話を聞く ・ものづくり体験をする 	<p>本事例について</p> <p>他講座例 「古代オリентの生活」「ガラスのはじまり」「古代エジプト文明のはじまり」「シルクロードを旅したガラス」など。 また、その時に開催している展示との関連性のある講義も可能。</p>

オリент美術館活用事例 5 【出前授業】

教科・分野 図画工作/美術鑑賞	オリент美術館の作品を鑑賞しよう (対話を取り入れた鑑賞)	実施学年(年代) 小学校 第5～6学年 中学校 第1～3学年
活動の概要 オリент美術館の作品をみて、感じたり考えたりしたことを話し合う。		
主に使用した教材等 美術館所蔵作品の画像 ※文皿の表面と裏面を裏表で印刷 他 ・次時に豆皿のデザイン(表現)の授業を行う	美術館の資料 多彩飲酒人物文皿(写真画像) 10～11世紀 イラン北東部 陶器 径19.1cm	
本時の展開		
前時 導入 展開 終末 次時	主な学習活動 ・「オリエンかる太」を行うことで、オリент美術館に親しみを持つ。 ・カルタから一枚を選び、特徴や気付いたことをワークシートに書くことで、オリентの美術品の魅力に気付く。 ・オリент美術館について知る。 ・(個人)ワークシートに作品をみた第一印象を書く。 ・(個人)作品をよくみて、気付いたことや感じ取ったり考えたりしたことをワークシートに書く。 ・(班)作品について気付いたことや考えたことを話し合い、新たな見方や感じ方に気付く。 ・(クラス)班で話し合ったことをクラス全体で共有する。 ・作品についての補足を聞き、学びを確かにする。 ・本時を振り返り、どのような学びや気付きがあったかを確認する。 ・次時の内容について知る。 ・既習事項をもとに図柄を考え、豆皿に描く。(表現) 条件「オリентの要素を取り入れる」「丸の形を生かす」	活動の様子  <p>本事例の資料「多彩飲酒人物文皿」は、当時の文化、風俗がよく分かる資料である。授業の展開の最後には、生徒の気付きと、作品の情報をつなげて話すことで、生徒の学びがより確かなものとなるようにした。</p> <p>本事例について 生徒にとって、作品から気付いたり感じ取ったりすることも多くあったが、互いの見方や考え方を話し合うことで、異なる多様な意見を学ぶことができ、それが良かったという感想が多かった。</p> <p>取り上げる資料は、学校教員と相談し、美術館の収蔵品から、生徒の実態に応じて決定した。</p>

オリент美術館活用事例 6 【出前授業】

教科・分野 図画工作/美術 表現	オリент美術館の作品からキャラクターを考えよう (オリジナル缶バッジをつくろう)	実施学年(年代) 小学校 第2～6学年 中学校 第1～3学年													
活動の概要 オリент美術館の作品をモチーフに、オリジナルのキャラクターを考え、缶バッジにする。															
主に使用した教材等 缶バッジ ※後日オリент美術館内で作成	美術館の資料 オリエンかる太 オリент美術館キャラクター(「オリエン太」「玉美」)														
本時の展開															
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="190 727 349 778">前時</td> <td data-bbox="356 727 1263 778"> 主な学習活動 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="190 783 349 890">導入</td> <td data-bbox="356 783 1263 890"> <ul style="list-style-type: none"> 「オリエンかる太」を行うことで、オリент美術館に親しみを持つ。 取り札にある作品同士の関連について考えることで、オリент地域の美術品の特徴に気付く。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="190 895 349 1070">展開</td> <td data-bbox="356 895 1263 1070"> <ul style="list-style-type: none"> オリент美術館について知る。 収蔵品をもとにしたオリент美術館のキャラクターについて、キャラクターが使われている場面やキャラクターを考えたデザイナーの考えや意図について知る。 本時の活動について知る。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="190 1075 349 1251">終末</td> <td data-bbox="356 1075 1263 1251"> <ul style="list-style-type: none"> 「オリエンかる太」から一枚選択し、選んだ収蔵品をもとにキャラクターを考える。その際、キャラクターの特徴や性格等についても考え、そのために色や形をどのように工夫していくかについても考える。 考えたことをもとに、キャラクターの下絵を制作する。 条件「コミュニケーションがとれること」「移動ができること」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="190 1256 349 1342">次時</td> <td data-bbox="356 1256 1263 1342"> <ul style="list-style-type: none"> 本時に考えたキャラクターについて班で話し合う。 友達の意見を参考にしてデザインを考え、キャラクターを指定の用紙に描く。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="190 1347 349 1481"></td> <td data-bbox="356 1347 1263 1481"> 完成したキャラクターの絵を缶バッジにする。(美術館) </td> </tr> </table>	前時	主な学習活動	導入	<ul style="list-style-type: none"> 「オリエンかる太」を行うことで、オリент美術館に親しみを持つ。 取り札にある作品同士の関連について考えることで、オリент地域の美術品の特徴に気付く。 	展開	<ul style="list-style-type: none"> オリент美術館について知る。 収蔵品をもとにしたオリент美術館のキャラクターについて、キャラクターが使われている場面やキャラクターを考えたデザイナーの考えや意図について知る。 本時の活動について知る。 	終末	<ul style="list-style-type: none"> 「オリエンかる太」から一枚選択し、選んだ収蔵品をもとにキャラクターを考える。その際、キャラクターの特徴や性格等についても考え、そのために色や形をどのように工夫していくかについても考える。 考えたことをもとに、キャラクターの下絵を制作する。 条件「コミュニケーションがとれること」「移動ができること」 	次時	<ul style="list-style-type: none"> 本時に考えたキャラクターについて班で話し合う。 友達の意見を参考にしてデザインを考え、キャラクターを指定の用紙に描く。 		完成したキャラクターの絵を缶バッジにする。(美術館)		活動の様子   <p>前時での導入、オリентの美術品の作風を捉えること、作品の選択において「オリエンかる太」を活用した。</p>	  <p>生徒が作成したキャラクターを缶バッジにして後日学校に送付。</p>
前時	主な学習活動														
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「オリエンかる太」を行うことで、オリент美術館に親しみを持つ。 取り札にある作品同士の関連について考えることで、オリент地域の美術品の特徴に気付く。 														
展開	<ul style="list-style-type: none"> オリент美術館について知る。 収蔵品をもとにしたオリент美術館のキャラクターについて、キャラクターが使われている場面やキャラクターを考えたデザイナーの考えや意図について知る。 本時の活動について知る。 														
終末	<ul style="list-style-type: none"> 「オリエンかる太」から一枚選択し、選んだ収蔵品をもとにキャラクターを考える。その際、キャラクターの特徴や性格等についても考え、そのために色や形をどのように工夫していくかについても考える。 考えたことをもとに、キャラクターの下絵を制作する。 条件「コミュニケーションがとれること」「移動ができること」 														
次時	<ul style="list-style-type: none"> 本時に考えたキャラクターについて班で話し合う。 友達の意見を参考にしてデザインを考え、キャラクターを指定の用紙に描く。 														
	完成したキャラクターの絵を缶バッジにする。(美術館)														
本事例について キャラクターを考える上で収蔵品の知識を求める生徒については、カード裏面に作品情報や、館ホームページの収蔵品検索から作品情報が閲覧できることを伝えた。															

オリент美術館活用事例 7 【校外学習】

教科・分野	土ぐうのふくをかながえよう	実施学年(年代)
図画工作 表現・鑑賞		小学校 第1～3学年
活動の概要 オリент美術館の美術品を鑑賞し、土偶に着せてみたい服を考える。		
主に使用した教材等 ワークシート	美術館の資料 土偶 (例)「男性土偶」「男性土偶頭部」「女性土偶」 「地母神土偶」「女性像土偶」	
他 ・校外学習と合わせ美術館内で活動を行った		
本時の展開		
	主な学習活動	活動の様子
前時	・「オリエンかる太」を行い、オリент美術館や収蔵品に親しみを持つ。	 <p>美術館の職員からも、館内のルールやマナーについての話を聞くことで、一般の来館者への配慮や公衆道徳について意識することができるようにする。</p>
美術館内 導入	・オリент美術館や収蔵品について知る。 ・本時の活動について知る。 ・美術館内でのルールやマナーについて知る。	
展開 (鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員の解説を聞きながら館内を見学し、収蔵品の造形的な特徴や面白さに気付く。 「オリент美術館の建物の特徴」 「展示されている収蔵品について」 	 <p>土偶を実際に目にすることで、活動への意欲が高まったためか、何枚も制作する児童もいた。</p> 
展開 (表現)	<ul style="list-style-type: none"> ・館内に展示されていた土偶について、着させてみたい服を考えてワークシートに描きこむ。 土偶の特徴をとらえ、どのようなことを表したいか考え、土偶に着させてみたい服として表現する。 	
終末	・活動を振り返り、異文化への親しみを維持する。	<p>本事例について</p> <p>表現の活動では美術館の地下講堂を使用。スペースに限りがあるため、受け入れは1クラスずつ行った。</p>

オリエント美術館活用事例 8 【出前授業】

教科・分野	美術品の修復について考えよう (美術館訪問)	実施学年(年代)
美術鑑賞		中学校 第1～3学年
<p>活動の概要 美術館の学芸員が携わった修復例について知り、美術品の修復や継承について考える。実際にオリエント美術館を訪れ、実物の美術作品を直接鑑賞する。</p>		
主に使用した教材等 美術館所蔵作品の画像 美術館内ワークシート	美術館の資料 修復作品 (例)「白地黄褐彩パルメット文鉢」 「色絵樹下人物文皿」 「台付杯」	
<p>他 ・次時に美術の校外学習の活動あり</p>		
<p>本時の展開</p>		
	<p>主な学習活動</p>	
前時	<p>・オリエント美術館ホームページより「収蔵品情報可視化ツール」などからオリエントの美術品をみることで、歴史ある美術品に興味を持つ。</p>	
導入	<p>・学芸員が携わった美術品の修復について聞き、修復について様々な考え方があつたことを知る。 ・本時の活動について知る。</p>	
展開	<p>・提示された作品について、修復をするべきかするべきではないか考える。 「修復するべきであれば、どこまで修復するか」 「修復しないのであれば、どこまで破損が進んだら修復するか」について考える。 (個人 → 班で話し合い → クラスで共有)</p>	
終末	<p>・作品の修復やどのように美術品を継承していくかについて考える。</p>	
校外学習 (美術)	<p>・美術館に来館し、オリエント地域の美術品を直接鑑賞する。 ・展示している美術品を通して、美術品の修復と継承について考える。</p>	

活動について(美術館内)



美術館内での活動では、建物や展示品についてのワークシートを使用した。



お互いに話し合いながらワークシートに書きこんでいる様子。

本事例について

学芸員が携わった修復の話については、あえて修復の跡が分かるようにした例や、どこまで修復するべきか問いかける例など、複数の事例について紹介することで、生徒が互いの異なる考え方を尊重しながら話し合いを進めることができるようにした。

オリент美術館活用事例 9 【授業】

教科・分野 図画工作 表現・鑑賞	魔法のエンブレム (収蔵品情報可視化ツールの活用/学校内)	実施学年(年代) 小学校 第5～6学年									
活動の概要 情報端末を活用して、収蔵品の模様の特徴や形の美しさを感じ取る。 感じ取ったイメージをもとに、自分の創造したいエンブレムを工夫して表現する。											
主に使用した教材等 個人の情報端末 アイデアカード、作品カード 樹脂板、ニードル、版画用絵具 など 色画用紙	美術館の資料 「収蔵品情報可視化ツール」										
本時の展開											
<table border="1"> <tr> <th data-bbox="203 740 349 786"></th> <th data-bbox="349 740 1265 786">主な学習活動</th> </tr> <tr> <td data-bbox="203 786 349 983">第一次</td> <td data-bbox="349 786 1265 983"> <ul style="list-style-type: none"> ・オリент美術館の代表作品「アッシリア・レリーフ」について知る。 ・人々を幸せにする力が宮殿に封印されているという設定のもと、その力を解放するための、アッシリアの魔法のエンブレムを考える。 ・収蔵品情報可視化ツールを活用し、収蔵品の模様や形などの特徴を感じ取り、エンブレムをかく参考にする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="203 983 349 1142">第二次</td> <td data-bbox="349 983 1265 1142"> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したエンブレムをドライポイント版に彫る。 ・表し方などを工夫しながら、画用紙にエンブレムを刷る。 ・刷った紙の形を切って整えたり、複数枚を組み合わせたりすることで、エンブレムの見せ方を工夫する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="203 1142 349 1342">第三次</td> <td data-bbox="349 1142 1265 1342"> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を見て楽しんでもらうために、校内にエンブレムを飾る。 ・校内のある場所が封印されているという設定のもと、エンブレムを飾る。作品カードとともに掲示することで、制作の意図をお互いを知る。(掲示に際しては、起案書を書き責任者から許可をとることで、公共の場でのマナーなどを意識する) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="203 1342 349 1476">授業後(例)</td> <td data-bbox="349 1342 1265 1476"> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の様々な場所に掲示し、他学年の児童もみることができるようにする。 ・国語科と連携し、エンブレムやアッシリア・レリーフにまつわる物語を書く。物語の資料や挿絵にする。 </td> </tr> </table>		主な学習活動	第一次	<ul style="list-style-type: none"> ・オリент美術館の代表作品「アッシリア・レリーフ」について知る。 ・人々を幸せにする力が宮殿に封印されているという設定のもと、その力を解放するための、アッシリアの魔法のエンブレムを考える。 ・収蔵品情報可視化ツールを活用し、収蔵品の模様や形などの特徴を感じ取り、エンブレムをかく参考にする。 	第二次	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したエンブレムをドライポイント版に彫る。 ・表し方などを工夫しながら、画用紙にエンブレムを刷る。 ・刷った紙の形を切って整えたり、複数枚を組み合わせたりすることで、エンブレムの見せ方を工夫する。 	第三次	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を見て楽しんでもらうために、校内にエンブレムを飾る。 ・校内のある場所が封印されているという設定のもと、エンブレムを飾る。作品カードとともに掲示することで、制作の意図をお互いを知る。(掲示に際しては、起案書を書き責任者から許可をとることで、公共の場でのマナーなどを意識する) 	授業後(例)	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の様々な場所に掲示し、他学年の児童もみることができるようにする。 ・国語科と連携し、エンブレムやアッシリア・レリーフにまつわる物語を書く。物語の資料や挿絵にする。 	<div data-bbox="1288 735 2033 1023"> <p>活動について</p> <p>情報端末を使って「収蔵品情報可視化ツール」を見ることで、それぞれが模様の参考になる作品を自由に検索することができる。</p>  </div> <div data-bbox="1288 1038 2033 1302"> <p>児童作品</p>  </div> <div data-bbox="1288 1310 2033 1476"> <p>本事例について</p> <p>小学校の教員により作成された授業。オリент美術館に出向くことなく、情報端末を使い「収蔵品情報可視化ツール」を活用することで、学校が独自に授業を進めていくことができる。</p> </div>
	主な学習活動										
第一次	<ul style="list-style-type: none"> ・オリент美術館の代表作品「アッシリア・レリーフ」について知る。 ・人々を幸せにする力が宮殿に封印されているという設定のもと、その力を解放するための、アッシリアの魔法のエンブレムを考える。 ・収蔵品情報可視化ツールを活用し、収蔵品の模様や形などの特徴を感じ取り、エンブレムをかく参考にする。 										
第二次	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したエンブレムをドライポイント版に彫る。 ・表し方などを工夫しながら、画用紙にエンブレムを刷る。 ・刷った紙の形を切って整えたり、複数枚を組み合わせたりすることで、エンブレムの見せ方を工夫する。 										
第三次	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を見て楽しんでもらうために、校内にエンブレムを飾る。 ・校内のある場所が封印されているという設定のもと、エンブレムを飾る。作品カードとともに掲示することで、制作の意図をお互いを知る。(掲示に際しては、起案書を書き責任者から許可をとることで、公共の場でのマナーなどを意識する) 										
授業後(例)	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の様々な場所に掲示し、他学年の児童もみることができるようにする。 ・国語科と連携し、エンブレムやアッシリア・レリーフにまつわる物語を書く。物語の資料や挿絵にする。 										

オリエント美術館活用事例 10 【出前授業】

教科・分野 図画工作/美術 表現・鑑賞	仮想展示室をつくろう (収蔵品情報可視化ツールの活用)	実施学年(年代) 小学校 第5～6学年 中学校 第1～3学年
活動の概要 情報端末を使い、オリエント美術館の作品の良さや特徴を生かした仮想の展示室をつくる。		
主に使用した教材等 個人の情報端末	美術館の資料 「収蔵品情報可視化ツール」 「50作品の切抜き画像」	
他 ・仮想展示室画像(校舎内の風景、掲示板等)		
本時の展開		
導入	主な学習活動 ・オリエント美術館や収蔵品について知る。 ・美術館内の展示の工夫について知る。 (「作品の背景を感じさせる展示」「テーマにそった展示」など)	美術館内で実際に展示されているいくつかの作品の中で、特徴的な展示について知ることで、展示の工夫や見せ方について考えを広げることができるようにする。
展開 (鑑賞)	・本時の活動について知る。 ・教師の作成した仮想展示室を見て、活動のイメージをもつ。 ・収蔵品情報可視化ツールに触れて、作品の良さや特徴などを感じ取る。	活動の様子 
展開 (表現)	・収蔵品情報可視化ツールから5点作品を選び、作品の良さや特徴を考えながら、仮想展示室に作品画像を展示する。	生徒作品  仮想展示室は、実際の教室の写真などを使用した。
展開 (鑑賞)	・制作した仮想展示室をお互いに観賞し、作品のどこに着目したか、どんなことを考えながら仮想展示室をつくったのか等について話し合う。	
終末	・活動を振り返り、今後も美術館や作品に親しみをもつことができるようにする。	本事例について 中学生を対象とした本事例では、仮想展示室に作品画像を掲示する活動を行ったが、作品画像を一点選び校舎内のどこに展示するか考える、という活動を行うことも想定できる。